

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

広島市立牛田新町小学校

【取組内容】 第1学年 家庭での活動と授業での学習を相互に生かす授業法の工夫

1 家庭での活動した様子を撮影し、提出する。

家庭で自分が仕事をする様子を撮影し、その写真や動画をみんなで共有できる場に提出した。その写真や動画の様子を参考にしながら、もっと上手に仕事ができるようになるために、学級で作戦会議をした。

2 家庭での活動の様子を学級で共有する。

上手いかなかったところや、困っていることを学級のみんなに相談し、より良い方法を探っていく作戦会議を行った。

うまくいなくてこまっているところ

ズボンがあわてすべりておソレ=くい。

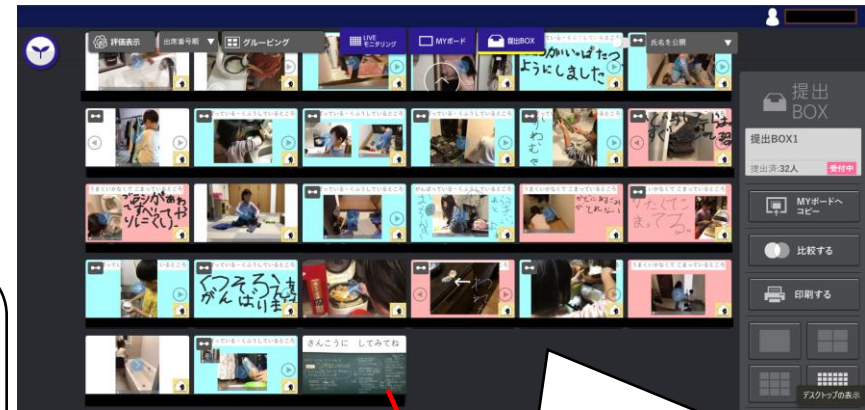
写真や動画の様子を参考にしながら作戦会議をした。実際の様子を提示できるため、低学年でも具体的に困り感を伝えることができた。

がんばっている・くふうしているところ



ちかくにもっていき

聞き手（助言する側）の児童の中には、自身の体験談を具体的に示しながらアドバイスをする様子も見られた。

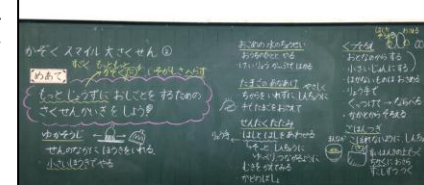


家族がスマイルになるために、どのような仕事をしたらよいか自分で決め、その仕事に取り組んだ。家庭で撮影した様子を、その日のうちに家庭から提出した。

3 授業で出た意見を共有する。

作戦会議時の板書を児童に送り、授業での学びを、家庭での活動に生かすことができるようにした。

さんこうに してみてね



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

広島市立牛田新町小学校

【取組内容】 第1学年 児童が明確な目標をもって臨むことができる授業法の工夫

- 1 スプレッドシートで学習計画を示す。
その流れに沿って、自己の学びの振り返りができるようにする。

児童名	もくひょう	①「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	②「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	③「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	④「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑤「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑥「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑦「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑧「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑨「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑩「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑪「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑫「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑬「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑭「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑮「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑯「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑰「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑱「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑲「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑳「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉑「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉒「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉓「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉔「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉕「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉖「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉗「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉘「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉙「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉚「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉛「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉜「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉝「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉞「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉟「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊱「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊲「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊳「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊴「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊵「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊶「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊷「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊸「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊹「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊺「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊻「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊼「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊽「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊾「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊿「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく
児童名	もくひょう	①「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	②「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	③「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	④「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑤「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑥「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑦「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑧「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑨「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑩「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑪「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑫「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑬「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑭「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑮「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑯「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑰「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑱「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑲「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	⑳「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉑「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉒「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉓「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉔「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉕「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉖「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉗「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉘「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉙「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉚「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉛「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉜「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉝「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉞「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㉟「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊱「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊲「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊳「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊴「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊵「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊶「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊷「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊸「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊹「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊺「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊻「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊼「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊽「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊾「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく	㊿「かぞくスマイル大きくせん」がくしゅう けいかく

見通しをもって活動することができた。また、自分の現状を確認しながら、意欲的に学習に取り組む様子が見られた。

今までの振り返りを通して、自分が学びを重ねて成長してきたことを実感していた。

- 2 単元や、各授業の目標を共有する。

	A	B
1	「かぞく スマイル 大きくせん」がくしゅう けいかく	
2		
3	じぶんできめる じぶんの もくひょう	
4	がくしゅうのもくひょう	
5	A	かぞくをえがおにするために、じぶんにできることをすすんでかんがえ、つづけることができる。
6	B	かぞくをえがおにするために、じぶんにできることをかんがえる。
7	C	じぶんにできることをかんがえる。

いつでも、どこでもルーブリックを確認できるので、明確な目標をもって学習に臨むことができた。

24	④だい2かい「かぞく スマイル 大きくせん」にちょうせんする。
25	★★★ ともだちにきいたことやじぶんのくふうをとりいれて、しごとのしかたをレベルアップさせたよ。
26	★★ どうしたらしごとのしかたをレベルアップさせられるか、かんがえながらしごとをしたよ。
27	★ じぶんにできるしごとをみつけて、そのしごとをしたよ。

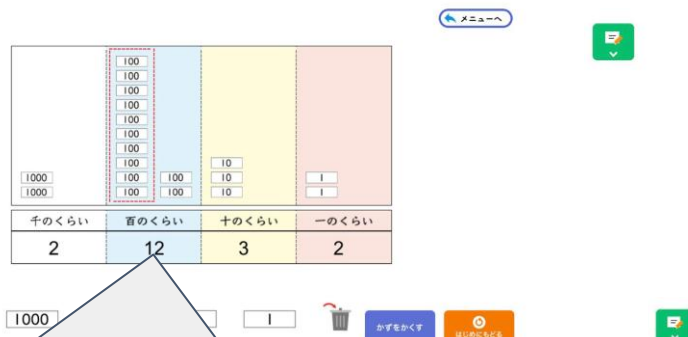
単元の目標、各授業の目標のルーブリックを作成し、別のシートに提示した。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

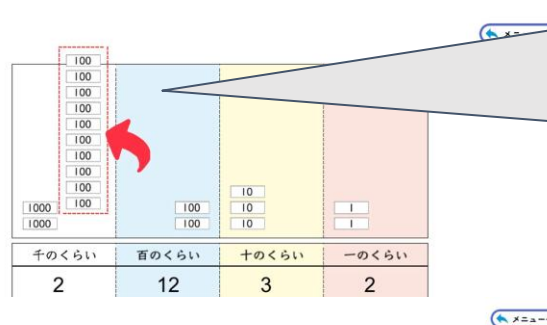
広島市立牛田新町小学校

【取組内容】 第2学年 十進法の理解を深める工夫

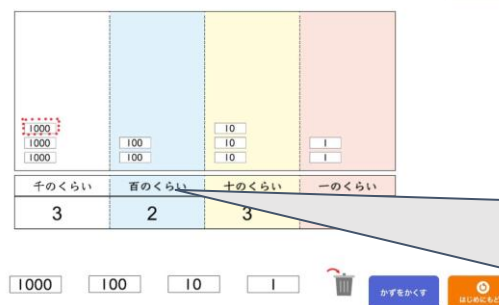
- 1 算数の教科書の二次元コードを読み取る。
- 2 カードを並べ、一つの位に同じカードが十枚以上入っていることに気付くことができるようにする。
- 3 児童がタブレット画面を動かしながら話し合い、同じ位に10枚のカードのまとまりがある時は、次の位にカードを置き換えることに気付くことができるようにする。



位取り表があったり、同じ種類のカードが10枚になったら赤く囲まれたりしている。支援が必要な児童も視覚的にカードを置き換える必要を感じることができていた。



10枚の同じカードのまとまりを一つ上の位へ動かすことができる。(100を10こあつめれば1000になる、ということを深めることができる)



位取り表もカードの枚数に合わせて自動的に変化する。位取り表を隠したい場合は隠すこともできる。

【所感】

これまで教科書の裏にあるカードをちぎって授業をしていたが、タブレットを活用することで、作業の時間よりも学習内容について考える時間を確保することができた。また、児童がタブレットの画面を動かしながら話し合うことができ、自分の考えを隣の席の児童以外にも説明することができた。支援が必要な児童も100が10こで1000になることが視覚的に分かりやすかった。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

広島市立牛田新町小学校

【取組内容】 第3学年 「Googleマイマップ」を活用したデジタル地域安全マップの作成

1 地域を探検したり専門家から話を聞いたりして情報を集める。

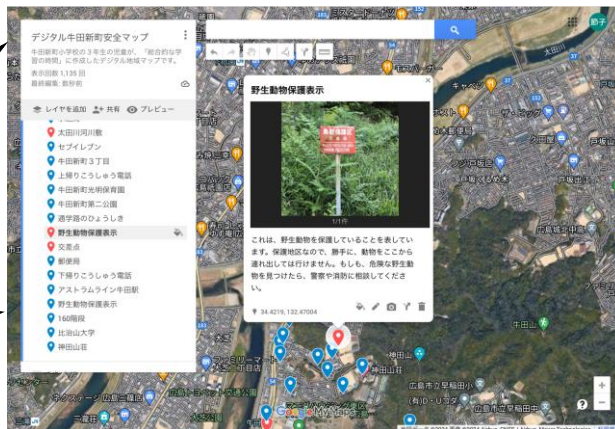
タブレット端末を持って町に探検に行き、安全・危険の視点で写真を撮ったりメモを取ったりして記録をした。また、警察官や消防隊、大学教授や地域の方等にインタビューし、情報を収集した。

2 「Googleマイマップ」で情報を共有する。

児童一人一人が見たり聞いたり調べたりした情報と、町の方に向けたメッセージを入れたカードを作成し、インターネット上で共有した。

Googleマップを使用することで、作成児童の個人情報を守りながら、インターネット上に公開することができる。

地図上に色別マーカーを立て、色で安全か危険を表示した。



探検で撮ってきた写真と収集した情報を児童が自分で入力した。

1人1台端末を生かし、1人1枚のカードを作成した。

3 作成したデジタル地域安全マップを地域・家庭・学校に発信する。

作成したデジタル地域安全マップは、作成に協力いただいた専門家の方や地域の方、また、全児童にも見てもらえるように学校のHPにアップしたり二次元コードにして配付したりする。保護者に向けては、1年間の取り組みを報告する発表会を参観日に行う予定である。



リーディングDXスクール事業 【実践事例】

広島市立牛田新町小学校

【取組内容】 第4学年 総合的な学習において、目標を明確にし、より深く学び合うための工夫

- 1 目標を明確にするために、ループリックをもとに自分のゴールや課題をスプレッドシートに記入し、授業後に振り返りをする。

	A	B	C	D	E	F	G
1			おたすね	【ループリック】 S: Aに加えて、自分の調べていることに生かし、新たな考えや発見、 A: Bに加えて、気づきや問いを持ち、伝えることができた。 B: 友達の発表を聞き、感想を持つことができた			問いを持つことができた。
2		名前	調べたテーマ	ゴール	自分の課題	達成度	
4	1	ナルトビ エイ	A	今日は発表をしっかりと聞いてアドバイスをきいたことを発表すること、スズメは地球温暖化に関係してなさうだけど関係しているのかを発表を聞いて確かめたいと思います。	できた	発表を2つ作っていただけでもすごいです。スズメは最近みるのが減ったと思っていたのでその疑問が解決できました。	
5	2	雨	A	友達の発表をちゃんと聞いて、しせい良く友達の良いところを見つけながらアドバイスをきいて伝えていきたいです。あと、発表から、色々なことを学んでいきたい。	できた	発表を聞いていて、疑問に思ったことがたくさん出てきたので、まだまだ調べて欲しいです。次は、野津くんのでアドバイスを感想をたくさん書きたいです。あと、感想以外にもたくさん野津くんを伝えていきたいです。野津くんはどんぐりのことを調べるのでたくさん野津くんのどんぐりのことを教えてもらいたいです。	
6	3	カニ	S	スズメの食べているものなどが、カニに関係していないかしっかり聞きたい。	できた	水田には、カニも住んでいると思うので、水田が減っているのは、関係していると思います。	
7	4	果物	A	スズメが果物に関係していたら、関係性を調べるようによく聞いてその関係性を調べたいです。	できた	果物はスズメと温暖化で関係はなかったけど、スズメの温暖化で知らないことを知れてとても参考になりました。	
8	5	外来種	A	今日は、発表を聞いて、アドバイスをいっぱいしようと思います。僕が調べて「外来種」に関係があるかもしれないから、全部しっかり聞こうと思います。あと、僕は今までAだったから、Sを頑張ろうと思います。あと、アドバイスだけでなく、感想もいっぱい書けるようにする。	できた	今日は、発表をしっかりと聞いて、アドバイスもちゃんと調べて書きました。今日は、Sは行けなかったけど、次はSを目指そうと思います。次はsを目指すから、次発表する人もしっかりと聞きたいと思います。	

自分でゴールを設定することで、目的意識をもって意欲的に活動に取り組むことができた。また、「自分の課題」とゴールを明確にすることで、活動の質が上がってきた。

- 2 より深く学び合うために、学習支援ソフトを用いて他者参照したり、互いに調べたことや考えたことを共有する。



調べたことを探究する際、画面を見ながら、友達がどのようなことを、どのように表しているのか見合うことは、探究を進めていく上で大きな材料となった。また、発表者の疑問に対して、フロアの児童が調べ学習をして発表者のボードにカードを送ってアドバイスすることで、発表内容を共有し合うことができ、互いの探究を深めることができた。

- 1 学習支援ソフト上にクラスの数分のボードを作る。
- 2 児童は、自分のボード上で、調べたことをカードに書いていく。
- 3 発表の際、フロアの児童は、発表者の疑問について調べたことをカードにまとめ、発表者のボードに送る。

【取組内容】 第5学年 ルーブリックを用いた振り返りの充実

1 スプレッドシートに記載されているルーズリックを基に、今日のめあてを立てる。

クラスで一つのスプレッドシートを使う。ページ上部には、単元を通してつけたい力についてのルーブリック表を記載。下部には、自分の振り返りを日付順に記載。

2 授業の最後にルーブリックをもとに、今日の学びを振り返る。

タブを切り替えると友達の振り返りの内容も見ることができるので、学んだことの共有を簡単に行うことができる。

[illegible]

ページ上部：ループリック表

ループリックを常に見られるようにしたことで、単元全体を通して身につける力を把握し、自己の実態と照らし合わせて振り返ることができていた。また、現時点でできる力にチェックを入れ、色分けすることで、現状を簡単に把握できるようにもした。

[illegible]

ページ下部：振り返りシート

記述した文字数を反映できるようにして、記述量の向上を目指した。多くの児童が、回を重ねるごとに記述量が向上していた。

【取組内容】 第5学年 音楽制作アプリケーションを用いた音楽づくりの取組

1 Google classroomで全体の流れを把握する。

Classroomに、めあてや本時の学習の進め方、旋律の作り方などについて説明を明記しておき、何度でも確認できるようにしておく。

2 音楽制作アプリケーションを使って、和音にあう音楽づくりを行う。

アプリケーションを開き、旋律を入力していく。

あらかじめC→F→G→Cの和音進行で伴奏を入力しておき、データを配布している。

児童は、伴奏を聴きながら旋律を入力し、試行錯誤を繰り返しながら旋律に使う音を選んだ。直感的な操作が可能で、楽器の演奏が苦手でも、旋律づくりに集中できた。

3 つくった曲を、学習支援アプリケーションを使って共有する。

つくった曲をMP3形式で保存し、学習支援アプリケーションの共有スペースに提出する。

自分のカードに、つくった旋律やどのような思いでつくったか、どこを聴いてほしいかなどについてまとめて共有スペースに提出した。

共有スペースでは、児童同士が互いにつくった旋律を聴きあい、感想の交流をした。

The left screenshot shows a Google Classroom post titled "R6.6 和音に合わせて旋律をつくろう②" (R6.6 Compose a melody matching the harmony ②). It includes instructions for students to create a melody using a specific harmony (C major) and to share their work in a shared space. The middle screenshot shows a music application interface with a piano roll and a sequence of notes. The right screenshot shows a digital portfolio or gallery where students have uploaded their music and descriptions.

リーディングDXスクール事業【実践事例】

広島市立牛田新町小学校

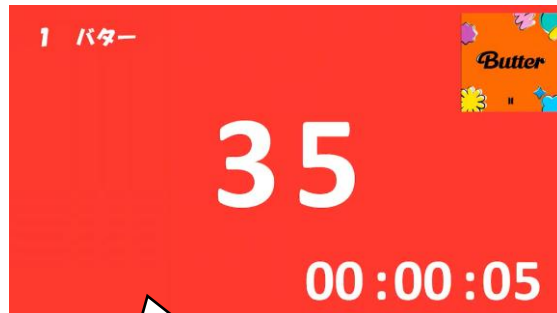
【取組内容】 第6学年 運動会の表現を子供たちが考える指導法の工夫

1 運動会の表現の考え方を変える。

従来の運動会の表現は、教師があらかじめ決めた動きに従って子供が練習をし、動きを洗練させていくものであった。これを子供たちが自分たちで動きを考え表現する場とした。

2 実際の指導

- ① 8～10人程度のグループに分ける。
- ② 1グループ40秒間の表現をすることを伝える。
- ③ 40秒の音楽動画を教師が作成する。
- ④ グループで動画を見ながら動きを決めていく



音楽とともにカウントダウンタイマーが表示されるので、曲を聞きながら、どの技をどのタイミングで表現するのかを、話し合っている。



表現する技については、インターネットで調べて自分たちの技量を鑑みながら組み合わせていく。

3 運動会当日



9グループが40秒間で表現。10秒間に入れ替えを繰り返した。運動会の様子を撮影した動画を児童と共有したが、動画を何度も繰り返し見ている児童がたくさんおり、達成感があったことが伺える。